



JEFF ROWLAND
DESIGN GROUP



MODEL 5
STEREO POWER AMPLIFIER

圧倒的な音場の実在感。音楽が生命を持つ。

アンプデザインの天才、ジェフ・ロウランド入魂のパワーアンプ、モデル5。

MODEL 5 STEREO POWER AMPLIFIER

ロウランド・デザイン・グループのステレオ・パワーアンプ、モデル5は、設計者ジェフ・ロウランドの理想を体現した至高のモノラル、モデル7に息づく技術を忠実に継承し、ステレオ構成としたシステムです。

CONSTRUCTION DETAILS AND FEATURES

モデル5は、各チャンネルに定格出力200Wのバイポーラー出力トランジスターを18個ずつ使用、各チャンネル出力部へのパワーは、それぞれ82,000 μ Fもの大容量を誇る1200Wトroidal電源トランスによって安定供給されます。この電源部は2ステージの“ソフトスタート”電源リレー回路によって起動し、常時オン状態となっている各チャンネル独立のフロントエンド電源回路からは完全に独立。こうした設計により、ウォーミングアップに要する時間が短縮される一方、チャンネル間のアイソレーションも完璧化されています。モデル7同様、入力部はエポキシ・カプセルにモジュール化して、機械的・温度的な安定性を確保、長期にわたる信頼性を獲得しました。入力コネクタは耐腐食性のゴールドメッキ仕様としたRCAタイプで、スピーカー出力コネクタとしては、通常のポストの他、バリアストリップ・タイプのターミナルもそなえています。もちろん、ジェフ・ロウランドだけの伝送方式「ディファレンシャルモード」をこのモデルでも採用、万全のノイズ処理によって90dBを優に上回るコモンモードリジエクションを獲得しており、圧倒的なヴォリューム感でリスニングルームを満たします。

LESS IS MORE

ジェフ・ロウランドのアンプ哲学を一言でまとめるとすれば、レス・イズ・モア。すなわち、部品数や回路構成はシンプルであればあるほどいい、ということになるでしょう。彼の全モデルに共通する、ストレートなノンNFB設計もその一環です。部品を妥協なく厳選し、余計な回路はできるだけ少なくして、オーディオ回路のみならず電源回路にもコストと労力を惜しまないことが、フィードバックなしでも安心して動作できるアンプデザインを生み出すのです。電源を強化すれば当然パワーも増強されますが、いかにハイパワーなモデルでも、ジェフ・ロウランドの場合、決してデリカシーを失うことはありません。それは、入力信号を単なる情報としてではなく血のかよった楽音として扱うためにいかなる細部をも疎かにしない、静かなる情熱のなせるわざでしょう。

●仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがありますのでご了承ください。



要所をカプセル化して、機械的、電氣的、そして温度的に安定した動作を維持する独自の設計も、生命ある楽音を伝送ロスなくとらえるための原則なのです。音楽が、サイエンスとテクノロジーによってのみ処理されがちな現代、あくまでミュージカリティを失わないエレクトロニクスを追求するジェフ・ロウランド。電子回路が、きめ細かな配慮と愛情に対して敏感に反応するものであることを知っているこの天才の作品は、あたかもストラディヴァリの彫り上げたヴァイオリンのごとく、時を経るにつれてその味わいを深めていきます。遍歴の果て、最後に手にしていただくブランドとしてご紹介する所以です。

TECHNICAL SPECIFICATIONS

◆定格出力(RMS連続): 150W(8 Ω)、300W(4 Ω)、475W(2 Ω)、モノブリッジ時: 550W(8 Ω) ◆周波数帯域: 0.15Hz~250kHz、-3dB ◆スルーレート: 75V/msec ◆THD(1kHz、8 Ω): 0.03%以下(20W)、0.075%以下(150W) ◆ダンピングファクター(8 Ω): 175以上(20Hz~20kHz)、60以上(100kHz) ◆出力電流(20msec、1kHz): 連続40A、90Aピーク(0.1 Ω) ◆ゲイン: 26.4dB ◆入力感度: 136mV(1W、8 Ω) ◆入力インピーダンス: 100k Ω 、20k Ω 、3k Ω 選択可能 ◆コモンモードリジエクション比: 90dB以上(20Hz~20kHz) ◆消費電力: 200W(アイドル) ◆寸法: 483W×222H×610Dmm ◆重量: 53.2kg

お買上げは技術信用ある当店で

大場商事株式会社

〒107 東京都港区南青山3-1-3 TEL03-479-5181